

[トップ](#) | [インプレッション](#) | [ニュース](#) | [カースコープ](#) | [エッセイ](#) | [Q & A](#) | [アーカイブ](#) | [mobileCG](#) | [自動車保険](#)
[トップ](#) - [インプレッション \(リスト\)](#) - [TVRタスカンスピードシックス\(5MT\)【ロードインプレッション】](#) (00.10.24)

インプレッション



【スペック】全長×全幅×全高=4235×1720×1200mm/ホイールベース=2364mm/車重=1100kg/駆動方式=FR/4リッター直6DOHC24バルブ(360ps/7000rpm、42.9kgm/5250rpm)/車両本体価格=948.0万円(テスト車=1027.0万円)リフレックスペイント(58.0万円)/フロアマット(3.0万円)/18インチホイール(18.0万円)

■ 『火を噴く「S席」』

TVRタスカン・スピードシックス(5MT)
.....1027.0万円

英国のスポーツカー、TVRを試乗するときにまずしなければいけないのは、どうやったら内側からドアを開けられるのかを聞くことだ。

「どうやったらドアが開くのですか？」

グリフィンならダッシュパネル下センタートンネル横のドアハンドルを引き、キミラはトンネルコンソール上の球形ダイヤルを捻り、サーブラウでは内張り奥のボタンを押すと、ドアから外に出ることができる。

聞いておいてよかった。

タスカン・スピードシックスの場合は、オーディオ脇の小さなボタンを押すのであった。コトツ……。FRP製のドアが開いた。



zoom

■ コンパクトなモンスター

TVRのニューモデル、タスカン・スピードシックスは、2+2スポーツ「サーブラウ」のシャシーを切りつめ、自社開発の4リッター直6ユニットを積んだ2シーター。鋼管を組んだフレームに、ファブリックを織り込んだ特殊なガラスファイバー製ボディシェルを被せるといって、年産約2000台のスポーツカー専門メーカーならではの、凝った車体構造をもつ。

一見、クーペのようだが、フロントスクリーン上端部からクォーターガラスより前の部分のルーフを外せる、いわゆるタルガトップモデルである。



zoom

まったく奇怪な6ツ目のフロントマスクをもち、肉感的にうねるニュータスカンのボディサイズは、全長4235mm、全幅1720mm、全高わずかに1200mm。ホイールベースは、サーブラウより205mm短い2361mm。押し出しの強い外観とは裏腹に、マツダRX-7にスッポリ入るコンパクトさである。

玄人が唸るデザインのハイライトは、前後に分かれたボンネット。波形のスカットル側パネルが生み出す「隙間」が、エンジンルームからの有効なエアアウトレットとなり、また、ダウンフォースを稼ぐ一助になる。ボンネットを開けたときに支える自重が小さくなるので、全体として軽くつくることができるのも利点だ。といっても、オイルや冷却水を補給するために開閉できるのは前ヒンジになったノーズ側だけ。キャビン寄りのパネルは、ボディに直接ボルトで留められる。

■ ピーター・ウィーラーの意図

地べたに座るがごとの低い着座位置。エアポンプでランバーサポートを調整できる本革シート。短い足をペダルに投げ出そうとして、ハツとする。トウボード手前に、アルミ削り出しのペダルが、3本、稟として立っている。ペダルの取り付け剛性を高くしたかったのだろう、いまや珍しいオルガン式である。ドタ靴で踏みつけていいものか、躊躇する。



zoom

セキュリティを外してエンジンをかけると、「オヤオヤ」と思った。

週間アクセスランキング (インプレッション) 2011/01/02~2011/01/08

- 1位 シボレー・コルベットZR1 (FR/6MT) 【短評】
- 2位 ボルシェ911ターボS (4WD/7AT) 【短評】
- 3位 ダイハツ・ムーヴXリミテッド (FF/CVT) /...
- 4位 メルセデス・ベンツSLS AMG (FR/7AT) 【短評】
- 5位 メルセデス・ベンツAクラス E-CELL (FF) ...
- 6位 ボルシェ・ボクスター (MR/7AT) 【短評】
- 7位 アウディA1 e-tronプロトタイプ【海外試乗...】
- 8位 トヨタFJクルーザー カラーパッケージ (4W...
- 9位 スバル・インプレッサWRX STI IS (4WD/6MT...
- 10位 スバル・トレジア1.3i-S (FF/CVT) 【ブ...

注目の情報 [PR]



[窓辺の少女が夢の旅へー](#)
気鋭アニメーター岡本氏が贈るファンタジーワールド！/YKK AP



[新着情報 BIZGateサーチ](#)
ビジネスパートナー探しの決定版。新規取引先や専門家の検索はこちら



[FPが解説する自動車保険](#)
「息子は帰省すると、わが家のクルマを運転するが」—保険は適用？

Ads by Google



zoom

「パーソナル」の革巻きステアリングホイールの奥のメーターには、大きく半円状に速度が刻まれ、中央のパネルに回転数などを表示するディスプレイ、その右下に燃料計、左に水温計の小さな窓が配される。エンジン始動と同時に、燃料、水温計を覆っていた薄いシャッターが、扇を閉じるようにゆっくりと開いていく。

「SFアニメを見ているようだ」。可笑しく思いながら内装全体に目をやると、木と革、そしてアルカンタラで覆われたサブラウと比較して、ずいぶん質素な印象を受ける。アルミメンバーがインストゥルメントパネルをプチ抜いて横切り、ドアトリムは樹脂にアルミの縁取り。シフトノブとパーキングブレーキが、これまたアルミの鈍い光を放つ。ラグジュアリーな「2+2」と、スポーティな「2シーター」。TVRのボス、ピーター・ウィーラーの意図は明確だ。

■ 襲いくるワンダリング

ちょっと聞いただけでハイチューンユニットとわかる不整脈を打ちながら、4リッターストレート6が唸っている。

「AJP8」と呼ばれるV8、GT1マシン用「スピード12」に続く、第3のTVR自製エンジン「SP6」は、各気筒4枚のバルブを、チェーン駆動による2本のカムで開閉するヘッドメカニズムをもつ。最高出力360ps/7000rpmの最高出力、最大トルク42.9kgm/5250rpm。オイル循環システムは、水冷式オイルクーラーを備えたドライサンプである。

撮影のために移動したとたん、「こりゃあ、レーシングエンジンだァ！」と驚いた。野太い音から想像していた重々しさは、まったくない。羽のように吹け上がる。

ブラックプールのオールアルミユニットは、各気筒ごとに吸入空気量を調整する6連スロットルを備え、しかもバタフライと燃焼室が極端に近づけられたレーシイなレイアウトをとる。フライホイールは軽量化され、アルミ鍛造ピストン、ニッケルクロムモリブデン鋼のクランクシャフトなどが惜しげなく使われる。

撮影を終え、ひと鞭入れて山道に躍り出ると、リアビューミラーのカメラカーがたちまち小さくなった。1100kgに360ps。停止から96km/hに達するまで、わずか4.2秒。カーボン製のエンドをもつステンレスマフラーからの排気音が心地よい。

閉口したのは、深く掘られた轍にステアリングを取られるワンダリングで、前225/35ZR18、後255/35ZR18というオプション設定の超扁平かつワイドなタイヤを、いささかもあます。なかなかスロットルペダルを踏み込めない。前後とも225/50ZR16のノーマルサイズだったらなァ.....

とはいえ、所期の興奮が醒め、ワンダリングをいなせるようになると、タスカン・スピードシックス、意外や乗り心地は悪くない。ダブルウィッシュボーンのサスペンションが、有効に働いているためだろう。スプリングは、アイパツハ製、車高調整機能を備えたダンパーは、TVRが開発したものだという。

■ 野蛮なよろこび

「.....マーケットリサーチ、あるいは練りに練ったアドバタイジングといった活動は、あまり真剣に行っていません」(タスカンのカタログより)。自動車メーカーに限らず、製造業を営む者にとって、一度は言ってみたいセリフなんじゃないか。トレバー・ウィルキンソン由来の偏屈なスポーツカーは、



zoom



zoom



生活の具たることをはなから放棄している。

スピードを上げるにつれ軽くなるステアリング、そしてボルグワーナー製5段ギアボックスからシフトレバーに伝わってくる熱を気にしながら考えた。タスカン・スピードシックスは、エンターテインメント・マシンなのだ。6本のシリンダーに火を入れた際の大袈裟なシャッターの動きは、あれは縦帳が上がるころだったのか。タスカンの厚い革シートは、火を噴く興奮を提供する豪華な「S席」。日本での価格は948.0万円。

試乗時間が終わりに近づき、大慌てで山道を戻る。4本の対向ポットを備えたAPロックのブレーキが、おもしろいように速度を殺す。カチッとしたフィールが好ましい。

日向では乾いた、木の陰では湿った匂いが車内に飛び込む。ライトハンダーではセンタートンネルが、左に曲がるときにはドアの小物入れが格好のニーサポートになる。TVRの開発者もトバし屋ぞろいなんだろう。タスカン・スピードシックスの楽しさは、自動車原初の野蛮なよろこびだ。次の世紀には、クルマであることをやめないと手に入らない。緑の小道を走りながらフロントスクリーンにほんのり映るのは、20世紀においてきた恋人のうしろ姿。だからよけいにいとoshii。

(文=web CG 青木禎之/写真=郡大二郎/テスト日=2000.9.27)



zoom



zoom

約60cmの深さをもつ、意外に実用的なトランクルーム。外したトップを収納することも可能だ。

Ads By Google

[マツダ ロードスター試乗](http://www.mazda.co.jp/purchase) www.mazda.co.jp/purchase

世界標準のライトウェイトスポーツで“人馬一体”の楽しさを。試乗はこちら

[中古車探しはガリバー](http://221616.com) 221616.com

全車保証付き、欲しい車がきっと見つかる。毎日入荷でどんどん更新中!

[新型軽ワゴン間もなく誕生](http://www.suzuki.co.jp) www.suzuki.co.jp

新型MRワゴン“スズキ公式”新感覚のタッチパネルオーディオ搭載

関連記事

TVR

[TVRサガリス \(FR/5MT\) 【短評】](#)

[【Movie】 新型「TVRタスカン2」発表、コンバーチブルもラインナップ](#)

[TVRサーブラウ・スピードシックス 【短評】](#)

[TVRサーブラウ スピードシックス \(5MT\) 【短評】](#)

タスカン

[【Movie】 新型「TVRタスカン2」発表、コンバーチブルもラインナップ](#)

スポンサード リンク

Ads by Google

